

日本 NPO 学会会員細則 改正案

改正案	現行	改正理由
<p>(権利)</p> <p>第3条</p> <p>1 (省略)</p> <p>2 賛助会員の権利は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 本会が主催する年次大会やセミナー等の行事に、無料で5人まで参加することができ、5人を超えたときは会員料金により参加することができる。</p> <p>(2) 本会の機関誌『ノンプロフィット・レビュー』(The Nonprofit Review) を、毎号5冊、無料で配付を受ける。</p> <p>(3) 本会の『日本 NPO 学会ニューズレター』を、無料で配付を受ける。</p> <p>(4) 本会の会員が交流するメーリングリスト (npo-net) において、会員向けに情報を発信することができ、また他の会員が発信する情報を得ることができる。</p> <p>(5) <u>本会のホームページにおいて賛助会員であることの明示を受けることができる。</u></p> <p>(6) 賛助会員は、総会における議決権及び理事候補者選挙における選挙権、被選挙権を有しない。</p>	<p>(権利)</p> <p>第3条</p> <p>1 (省略)</p> <p>2 賛助会員の権利は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 本会が主催する年次大会やセミナー等の行事に、無料で5人まで参加することができ、5人を超えたときは会員料金により参加することができる。</p> <p>(2) 本会の機関誌『ノンプロフィット・レビュー』(The Nonprofit Review) を、毎号5冊、無料で配付を受ける。</p> <p>(3) 本会の『日本 NPO 学会ニューズレター』を、無料で配付を受ける。</p> <p>(4) 本会の会員が交流するメーリングリスト (npo-net) において、会員向けに情報を発信することができ、また他の会員が発信する情報を得ることができる。</p> <p>(5) 賛助会員は、総会における議決権及び理事候補者選挙における選挙権、被選挙権を有しない。</p>	<p>賛助会員の獲得・維持のためには、次条で年会費の一口額を減額するだけでなく、広告的メリットを追加するのも効果的かと考え、ホームページでの企業名の明示をもって賛助への感謝の意を表することができるようにする。</p>

第2号議案資料

<p>第4条(会費) 会員は、次の会費を納入しなければならない。</p> <p>(1) 正会員 年会費 10,000円</p> <p>(2) 賛助会員 年会費 一口50,000円</p> <p>2 前項第1号において正会員が学生である場合は、学生の身分を証明する書類を事務局に送付しその承認を受けることにより、年会費を5,000円とする。</p>	<p>第4条(会費) 会員は、次の会費を納入しなければならない。</p> <p>(1) 正会員 年会費 10,000円</p> <p>(2) 賛助会員 年会費 一口100,000円</p> <p>2 前項第1号において正会員が学生である場合は、学生の身分を証明する書類を事務局に送付しその承認を受けることにより、年会費を5,000円とする。</p>	<p>賛助会員の一口額を減額することで、賛助会員の獲得・維持を図る。</p>
<p>付則</p> <p>1 本細則は平成29年3月26日より施行する。</p> <p>2 本改正細則は令和2年6月6日より施行する。</p> <p>3 本改正細則は令和2年●月●日より施行する。</p>	<p>付則</p> <p>1 本細則は平成29年3月26日より施行する。</p> <p>2 本細則は令和2年6月6日より施行する。</p>	<p>本細則は、「理事会の議を経て、総会の議決を要するものとする。」(第6条)ため、総会承認日を施行日とする。</p>

以 上